

育ネットつなん

津南町教育委員会
育ネットつなん事務局

『質の高い探究的な学びの実現に向けて』

～「津南妻有学」「TSS 授業アクティブ化プラン」～

津南中等教育学校 校長 西村 健一

これからの時代、主体的に学び、自らの人生を舵取りする力の育成や、多様で豊かな可能性を開花させる教育の実現が求められています。そのためには、一人ひとりが初発の思考や行動を起こしたり、好奇心を深掘りする中で、学びを主体的に調整し、自身の豊かな人生やより良い社会につなげたりする「質の高い探究的な学び」の実現が不可欠となります。

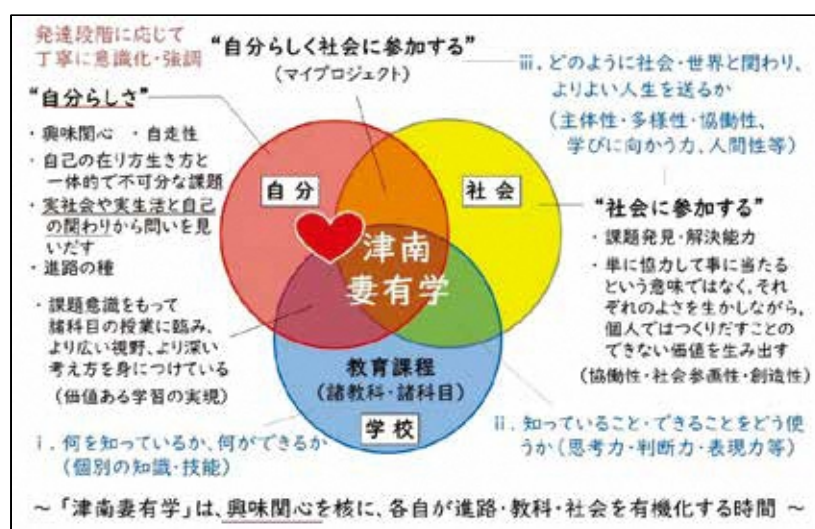
津南中等教育学校の大きな特色の1つが、津南妻有地域を学びの場として展開する6年間を見通した探究学習『津南妻有学』（「総合的な探究（学習）の時間」）です。この『津南妻有学』では、生徒が地域の課題や魅力に触れながら、自ら問いを立て、深く学ぶ活動を行っています。この探究活動が令和5年に「新潟県優秀教員（組織の部）」に選出され、令和6年には文部科学大臣賞を受賞するなど、探究的な学びの推進において高い評価を得ています。

また、2つ目の特色は、令和7年度より始めた、生徒が「授業が楽しい」「もっと学びたい」と感じられるよう、全教員が協力して授業研究をする『TSS 授業アクティブ化プラン』です。授業を「よりアクティブに」「より探究的に」するため、我々教員も探究的な学びを行っています。

今後も、最新の教育動向の調査や先進校の授業研究会などを通じて、この2つの取組をさらに充実させ、生徒一人ひとりの質の高い探究的な学びにつなげていく方針です。

最後に、令和3年度より「津南中等教育学校を支援する会」から、生徒の探究活動において、人的支援及び経済的支援をいただいております。この場をお借りして感謝申し上げます。

引き続き、生徒の「夢の実現」に向けて、探究学習を軸として特色化を推進し、こどもたちや地域の方々からの関心を高めていただけるよう努めてまいります。



【津南妻有学の概念図】

6/4 中等6年生と津南中3年生



中学校3年生が「総合的な学習の時間」での学びを深めるため、中等6年生を招いて学習しました。

6年生による「探求」の発表を聞いた後、グループに分かれて6年生にいろいろな質問をして「探求」についての学びを深めました。



6/25 3小 1・2年生①



上郷小でTapの指導の下、身体を動かしながら仲間づくりの活動を行いました。

5人の名前を覚えめました。タッチが楽しく、みんなで輪になってタッチができて嬉しかったです。

芦ヶ崎小学校1年 金子 蒼斗

石坂橋下の河原で、石の種類や並び方を調べたり、生き物を捕まえて観察したりしました。

7/7 3小 3・4年生



石坂橋下の河原で、石の種類や並び方を調べたり、生き物を捕まえて観察したりしました。



はじめはとっても緊張しました。英語が分からなくてついていけないかもしれないと心配していました。着いてすぐに班の友達が声をかけてくれました。うれしかったです。分からない英語が出てきたときには、班の友達と相談することで不安だったことがなくなりました。担当のジャスティン先生はとてもおもしろかったです。一番楽しかった活動は「カヤック」です。1つのボートに何人乗れるかチャレンジして、全員落ちてしまいました。

上郷小学校6年 八重沢 光

6/12 3小 3・4年生

津南小学校に集まって、体育館で身体を動かしたり、教室で授業を受けたりしました。給食を食べた後、昼休みを一緒に過ごしました。



学んだことが2つあります。1つ目は教室です。昼休みに教室の場所を全部見て回ったら上郷小との違いが分かりました。2つ目は大人数だと意見がまとまらなくてケンカが起きると思っていたけど、ちゃんと意見がまとまったので良かったです。

上郷小学校4年 藤木 竣介

6/30 5園 年長児①



総合センターに集まって、小さな園のこどもたちも大きな園のこどもたちに混じって、物おじすることなく楽しく遊びました。



交流活動



7/15 3小 2年生



津南小の“わくわく池”で、生活科の授業の「生き物探し」を行って、ヤゴなどの水生昆虫等を観察しました。

2回目の交流は、体育や国語の授業を合同で行い、給食も一緒に食べました。人数が多くなると配膳にも時間がかかります。



9/8 3小 1・2年生②

2回目の交流は、体育や国語の授業を合同で行い、給食も一緒に食べました。人数が多くなると配膳にも時間がかかります。



例年行われている園・小学校間の交流活動に加え、新たな交流活動(枠あり)も行われています。その一部を紹介します。

10/29 5園 年長児②

最初こそ園ごとの動き出しでしたが、多くの時間で園混合のグループ遊びが主な活動です。



前回から4ヶ月、遊びの中や過ごす様子から、こどもたちの成長が感じられる場面がたくさん見られました。



10/22 5園 年長児と津南小1年生

新年度のスムーズな人間関係の基礎を作ること、年長児が小学校の環境を知ることなどを目的に行いました。1年生：大口 康輝さんによる「こおりおにが楽しかったです。保育園の皆さん、小学校に来るのを待ってるよ!」の感想発表で閉会になりました。



10/7 津南中オープンスクール

小学校6年生(上・芦小は5年生も)を招いて、①中学1年生による学校説明と校舎見学、②「数学・理科・英語」の授業体験、③部活動見学&体験のプログラムで行いました。



10/6 3小 合同遠足



津南小を発着点にして、卯之木・釜落(大割野)・押付の3方面に分かれて遠足(ウォークラリー)を行いました。今年度初の試みで、グループは学校単位となりましたが、今後の活動では、内容によって混合の班編成が行われることもあります。

10/22 中-中等2年生



津南中の「職場体験」と津南中等の「職業図鑑」の発表や意見交換を通して交流しました。“体験したこと”、“調べたこと”“お互いに伝え合い「仕事」についての考えを深めました。



9/4 3小(+栄小) 5年生

ジオ交流として、栄小学校の児童も参加しました。石坂橋下の河原で、グループに分かれて浮き輪等を使った「救助訓練」と川遊びを楽しみました。



3日目は、中学生と一緒に活動しました。2日目までの反省を生かして、英語をしっかりと聞き取ることができました。

特に楽しかったのが、目隠しドッジボールのようなゲームです。英語の指示を聞いてボールを見つけたときは、すごくうれしかったです。普段できないような体験ができ、とても楽しかったです。

津南小学校6年2組 志田 旭

みらい教室で6年生とミニゲームなどで交流しました。最初は、あまり知らない人や話をすることがない人いたので不安をもちながら参加しました。ですが、やってみるとみんなが私たち中学生に「どうやってうまく伝えられるかな」など声をかけてくれてとてもうれしかったです。私も6年生がわからないことは教えることができました。本当に楽しいみらい教室でした。

津南中学校1年1組 小野塚さくら

9/3~5 みらい教室 (3小6年生と中学1年生)



2日目、僕が最初に行ったローロープスを使ったアクティビティでは、友達と協力して指示を出し合ってやるゲームが多かったです。特に面白かったのは2本の縄の間で木の棒を持ってボールを通らせるゲームで、最初は難しくてなかなか上手できなかったけれど、15回目くらいで成功できたので良かったです。そして夜にやったお楽しみイベントのダンスパーティーは、かなり盛り上がっていて体験したことのないような雰囲気だったのでとても楽しかったです。

芦ヶ崎小学校6年 涌井 樹

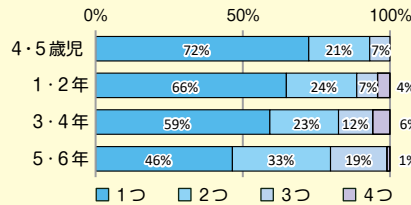
保護者部会「わが家の約束」集計から

学校の夏季休業の時期に保護者部会で実施している『わが家の約束』を、今年度も対象を保育園4・5歳児から小学生のいる家庭にして配付いたしました。今年度は、8割近い家庭から回収にご協力いただいて約束の内容等についてまとめることができました。それぞれの学年（年齢）の約束の内容や割合をご覧くださいととともに、今後の「わが家の約束」に取り組んでいただくヒントになれば幸いです。

※ 各学年（年齢）の回収数は異なるため割合で示しています。



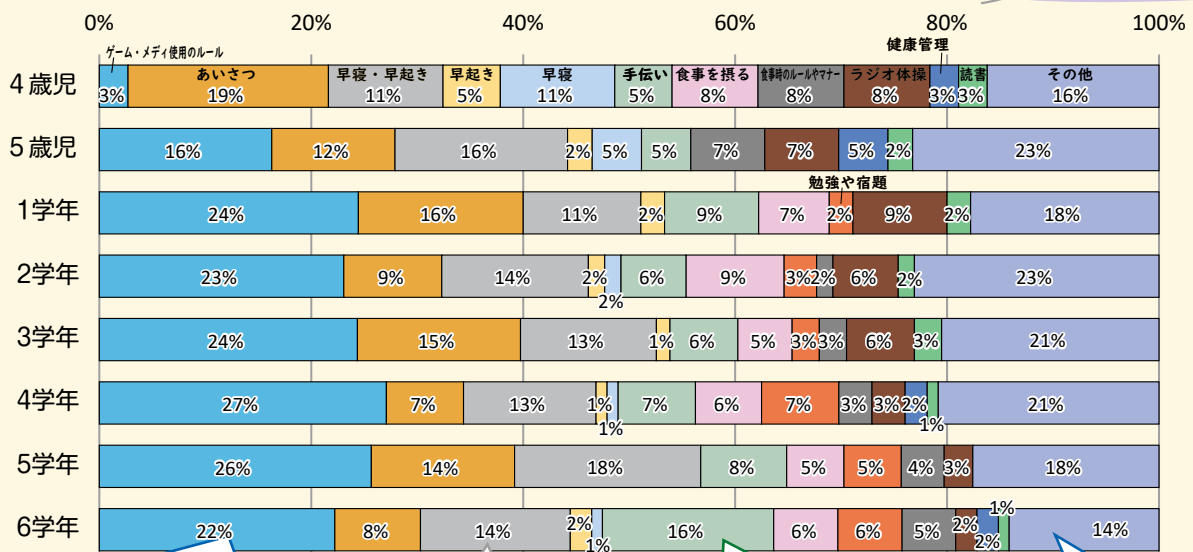
○ 約束の数



どの年齢層でも「1つ」の割合が最も高く、園児で7割、高学年児童で約5割を占めています。年齢層が上がるにつれて約束の数は増える傾向にあります。

ラジオ体操は、園児～中学年にかけて多く、「親子で」としている家庭も見られました。

○ 約束の内容（学年別）



【ゲーム・メディア使用のルール】
多くが…
・「〇〇：〇〇以降はしない」
・「メディアは＊時間まで」
・「□□分やったら△分休む」etc.
等の具体的な内容でした

【早寝・早起き】
具体的な時刻の記入のない家庭が多い

【手伝い】
「お風呂洗い・食器洗い」等の具体的な内容記述が約半数、残りの約半数は「お手伝いをする」という記述

【その他】
＊「家族で遊ぶ」（園児～中学年）
＊「毎日、家族でたくさん話す」
＊「家族で家事を分担する」などの『家族のかかわりや絆』に関することや、
＊「自分のことは自分でする」
＊「できないことにチャレンジする」などの行動に関する内容も見られました

★ グラフや記述から

- どの学年（年齢）を見ても、「早寝・早起き」、「ゲーム・メディア使用のルール」があり、小学生では「ゲーム・メディア使用のルール」の割合が特に高くなっている。
- 園児では、「早寝・早起き」に関わるものが全体の20%前後を占め、あいさつや食事時のルールやマナー、生活リズムを整えるなどの基本的な生活習慣の形成などの要素に関わるものが上位を占めている。
- 保護者の約束をこどもと別に記述のあった44の家庭では、「こどもと接しているときはスマホをかまわない」や「〇〇：〇〇以降はスマホを操作しない」等、スマホに関連することが園児から低学年児童の家庭で多く見られ、こどもとの時間を大切にしようとする意識が感じられた。
- 9割強の家庭の約束が「こどもと保護者共通」であったと思われるが、評価がこども欄のみであったものが24家庭あり、「こどもの約束」のみと捉えている家庭が少なからずあることがわかった。
⇒親子で同じ約束に取り組めないようであれば、別々でよいので取り組んでみましょう。
- 「その他の約束事」では、家族のかかわりや家族の絆に関わる記述が目立った。

集約からは、今年も「こどもも大人もメディアとの関わり方」が大きな課題であることが確認されました。大人以上にこれからの人生長い期間をメディアと関わっていくこども達を、よりよい利活用に導いてあげることが必要です。

学校の夏休みの期間に限らず通年で「わが家の約束」を実践しているご家庭もあるようです。

※こども達の「自立・自律」を促す取組の一つとして、通年チャレンジをお勧めします。